

実践記録（小5・国語）

1 ねらい

付箋紙を使い意見を交流させることで、新たな意見を自分の考えに取り込み、意見を深めたり、広げたりすることができる。

2 手立て

【考えキャッチシートの活用による思考の視覚化】

どの考えに対しての意見か分かるように、矢印を付けて付箋紙を貼りながら情報の交流を行う。

3 実践の様子

社会科の「暖かい土地・寒い土地の暮らし」についての単元で、それぞれの土地の工夫や特色を一通り学習した後、国語科の意見こうかんの単元を利用し、「魅力のある県は？」という題材で討論を行わせた。準備段階として、児童には「視点」を与え、その視点に沿って準備を進めさせた。視点には、「文化」「農業」「観光」「自然」と「その他」（児童がこれは魅力だと思うものを自由に考えさせる欄）の5つを選んだ【図1】。また、魅力だけではなく、その選んだ県のワークポイントやその対策も考えさせ、意見交換会を行わせた。

〇〇県の魅力は・・・ 5年2組 名前()

分類	魅力	ワークポイントとその対策
農業		
観光		
文化		

【視点を使った情報収集 図1】

児童を、1グループあたり4～5名とし、選んだ土地が対立するように教師側でペアを選んだ。

「考えキャッチシート」になぜその土地にしたのか、今の自分の考えを記述させた。そして、それについて賛成・反対意見や質問など付箋紙を使い一人2分間という時間を設定して、2分経過したら次の人に時計周りで回していくようにした。記述しながら会話をする中で、記述内容を補い、活発な意見交換ができたのではないかと考えた。

【意見交換された児童の考えキャッチシート】

4 成果と課題（○・・・成果、●・・・課題）

- 付箋紙を使って記述することで、意見や考えの確認ができた。また、矢印で追っていくことで、児童の考えの流れがとてもよく分かった。
- 最後に自分の考えを書かせる時にも、どのような意見交換をしていたのか振り返ることができ、友達の意見に触れながら、自分の新たな考えを書くことができていた。
- 意見交換をさせるには、その内容についての知識や情報をしっかりもっていないと意見交換をすることができない。二つを比べるテーマなので、その内容について、もっと知識や情報をもたせて自分の考えをもたせる必要があった。

冬は寒いけど家は工夫して作ってる。ニじりまどかニじり窓がくかんがあるよ。夏は中締めがきついわが暑いけど北海道はあまり暑くないからいい。夏より冬の方がイベントが多い。てんさいやスイートコン、じゃがいもにあずき、小麦などいいはいつくくる。

【意見交換後の児童の考え】